

ゼロの日のための願い〈その2〉

若気のいたり



真夏の太陽の下で、スピードとスリルに青春を謳歌する。楽しいことです。若い人だけが持つ特権です。しかし、車を運転する場合、それは困るのです。スピードとスリル、それは直接交通事故に結びついています。悲惨な交通事故に——。
「若気のいたり、そんな逃げ口上は、交通事故では決して許されないのです。」

提言

- ※ 「どんなもんじゃい」 そんな自慢が事故のもと
自分は腕に自信がある。スピードを出しても事故は起こさない。追い越しはお手のものだ。こんな気持は、いつかきっと事故を起こします。
- ※ ブレーキは早めに、スピードは控えめに
車の生命の一つはスピードです。もちろん制限以内のスピードで、それも控えめにするのが安全です。また、危いと思ったら早目にブレーキをかけることです。
- ※ 追越しは、よく確めて合図して
追越しを禁止してある場合や、追越せない状況の場合、無理をして追越そうとすれば、事故を起こす結果になります。

□ 交通事故をなくする熊本県民運動推進本部

新装なる 熊本県蚕業試験場



熊本市にあった県蚕業試験場が鹿本郡植木町に移転した。場所は国道3号線沿いで、1,252平方メートルの広大なスペース。近代的な蚕種研究施設やほかに、蚕業講習所、蚕業研修センターも併設されている。県蚕業振興のための技術指導センターとして、活動もさらに活気をおびてきている。



上・蚕室などの温度や湿度を自動的に調節する装置。



上・人工気象室—人工的に太陽光線が出せる新しい装置で、桑のイシユク病対策で活用される。



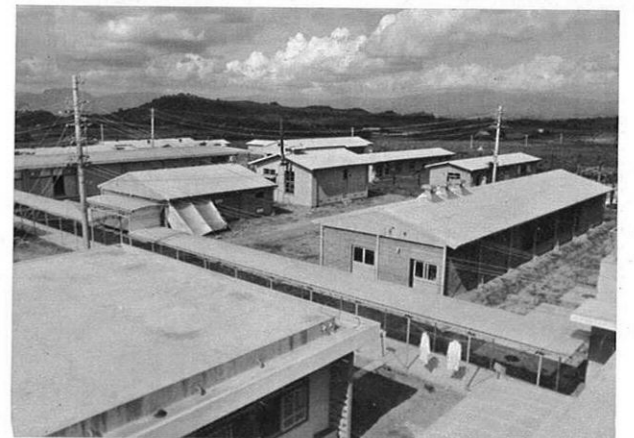
上・蚕業関係の講習会が開かれる蚕業講習所も場内にある。



上・蚕種に適した冷蔵温度を研究する冷蔵庫。



上・桑のない時期でもかいこが飼える人工飼料の研究室。



上・建ち並ぶ各種研究施設—その向うに試験園が見える。